

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公表番号】特表 2019-537752 (P2019-537752A)
 【公表日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-052
 【出願番号】特願 2019-527466 (P2019-527466)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

H 0 1 L 31/12 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/00 Z

H 0 1 L 31/12 E

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

検出波長範囲内の波長に感知性のある検出器と、

前記検出器上に配置され、複数の交互の第 1 及び第 2 の領域を含む光制御フィルムであって、各第 1 の領域は、幅 W 及び高さ H、 $H/W \geq 5$ を有し、各第 1 の領域は、前記検出波長範囲の第 1 の部分において実質的に低い透過率を有し、前記検出波長範囲の残りの部分において実質的に高い透過率を有し、各第 2 の領域は、前記検出波長範囲において実質的に高い透過率を有し、前記検出波長範囲の前記第 1 の部分における前記光制御フィルムの視野角が、第 1 の方向に沿って約 70 度未満である、光制御フィルムと、を備える検出器システム。

【請求項 2】

前記検出波長範囲は約 800 ~ 約 1600 であり、前記検出波長範囲の前記第 1 の部分は約 900 nm ~ 約 1100 nm である、請求項 1 に記載の検出器システム。

【請求項 3】

第 1 の方向に沿った第 1 のスペクトルプロファイル、及び異なる第 2 の方向に沿った第 2 のスペクトルプロファイルを有する光を放射するように構成された光源と、

前記光源によって放射された光を受光及び透過するための前記光源上に配置された光制御フィルムであって、該光制御フィルムは、複数の離間した第 1 の領域を含み、各第 1 の領域は、幅 W 及び高さ H、 $H/W \geq 1$ を有し、前記第 1 の領域は前記第 1 及び第 2 の方向に対して配向されており、スペクトル吸光度プロファイルを有し、これにより、前記光源によって放射された光が前記光制御フィルムによって透過されると、前記透過された光は、前記第 1 の方向に沿った第 3 のスペクトルプロファイル、及び前記第 2 の方向に沿った第 4 のスペクトルプロファイルを有し、前記第 3 及び第 4 のスペクトルプロファイルの差は、前記第 1 及び第 2 のスペクトルプロファイルの差よりも小さい、光制御フィルムと、を備える光源システム。

【請求項 4】

前記第 1 の方向に沿って伝播する前記光源から放射された光は色座標の第 1 のセットを

有し、前記第 2 の方向に沿って伝播する前記光源から放射された光は色座標の第 2 のセットを有し、前記第 1 の方向に沿って伝播する前記光制御フィルムによって透過された光は色座標の第 3 のセットを有し、前記第 2 の方向に沿って伝播する前記光制御フィルムによって透過された光は色座標の第 4 のセットを有し、色座標の前記第 3 及び第 4 のセットの差は、色座標の前記第 1 及び第 2 のセットの差よりも小さい、請求項3に記載の光源システム。